

第8回 東京呼吸療法セミナー 活動報告

東京都臨床工学技士会主催「第8回東京呼吸療法セミナー」を以下のとおり開催しましたのでご報告致します。

日 時：平成26年10月19日（日）

場 所：帝京平成大学 池袋キャンパス

参加人数：350名

テ ー マ：呼吸療法の「つぼ」

1. 10:00～11:10 血液ガス分析のつぼ

東邦大学医療センター大森病院 麻酔科 講師 佐藤暢一 先生

2. 11:20～12:30 フィジカルアセスメントのつぼ

湘南厚木病院 看護部 看護師長 米国呼吸療法士（RRT） 南雲秀子 先生

3. 12:50～13:30 ランチョンセミナー「酸素療法 基本からみなおしてみませんか？」

（共催：アトムメディカル株式会社）

順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院 臨床工学室 山本信章 先生

4. 13:50～15:00 トラブルシューティングのつぼ

済生会横浜市東部病院 ME センター 臨床工学技士 山田紀昭 先生

5. 14:50～16:00 COPD への呼吸リハビリテーションのつぼ

Respiratory Advisement Ys 代表 順天堂大学大学院医学研究科

リハビリテーション医学 佐野裕子 先生

※本セミナーは3学会合同呼吸療法認定士受講・更新講習会として認定されているもので、ポイントが25点加算されます。

今年度のテーマは「呼吸療法のつぼ」と題して、医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士など多岐にわたる職種の先生方からご講演をしていただきました。呼吸療法を行ううえでの考え方・アプローチ方法・管理方法など職種によって異なるかと思いますが、各専門分野で行われている呼吸療法のつぼをわかりやすくご教授いただき、各分野での考え方を共有することができました。

麻酔科の佐藤暢一先生からは症例を交えながら血液ガスの評価方法、考え方を、酸塩基平衡に関してはノモグラムを使用してわかりやすくご講演をしていただき、看護師・米国呼吸療法士の南雲秀子先生からは呼吸を評価するためのポイントをより細かく、また病態によって異なるアセスメントポイントをご講演していただきました。臨床工学技士の山田紀昭先生からはトラブルシューティングに絡めてアラームの設定方法やトラブル発生時の

DOPE アプローチの紹介を、またグラフィック波形から読み取れる異常も含めてご講演をしていただきました。今回は事前にトラブルシューティングの資料を配布し、事前学習してきてもらうスタイルであり、ボリュームのある内容でした。リハビリテーション医学の佐野裕子先生からは COPD の病態から呼吸の評価方法などをガイドラインの内容を含めてご講演をしていただきました。経験されてきたことも盛り込まれた内容でしたので、受講者のみなさんも聞き入っていました。

また、アトムメディカル株式会社共催で臨床工学技士の山本信章先生より酸素療法で使用するデバイスについてランチョンセミナーが開催されました。新しいデバイスから普段使用することが多い鼻カニューラや簡易酸素マスクなどの各特徴や使用するポイントについてご講演をしていただきました。今一度知識を深める良い機会となったのではないのでしょうか。

来年度も本セミナーの開催を予定していますので、皆様の参加をお待ちしています。最後になりましたが、事務局・スタッフの皆様・呼吸部会の皆様方のご協力に感謝致します。

主催：一般社団法人 東京都臨床工学技士会

後援：公益社団法人 日本臨床工学技士会、公益社団法人 東京都看護協会、公益社団法人 東京都理学療法士会、一般社団法人 東京都作業療法士会、東京都言語聴覚士会、チーム医療CE研究会東日本

